

## 第10回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

日時：平成25年7月5日（金） 午後2時～4時

場所：市民・協働ステーション（地域情報センター2階）

### 1. 「NPO・ボランティア講座」について

#### 【マッチング講座】

- ・マッチング講座において、参加者が「面白そう。」と思えるような内容にし、より多くの方が参加しやすいようにしていく。
- ・「こんなことを行うので、参加してみませんか。」と委員の皆さんの知り合いの方へ呼び掛けてもらい、講座の内容を知ってもらえるようにする。
- ・長期に渡り活動している団体から話を伺い、今後活動を考えている団体や継続して活動を考えている団体へのヒントとなるような講座にしていきたい。
- ・講座によって、ネットワーク作りへとつながることを期待する。
- ・今回は、審査員とアドバイザーに分かれて、まちづくり補助金の申請がしやすくなるように、団体のサポートをしていく。
- ・開催日は、平日か休日のどちらが良いか。  
⇒10月は休日に地区の行事等も多いため、平日に開催する。
- ・参加者が固定化されてしまう理由も考えていく必要がある。
- ・江南市の特色に合わせてやっていかないと、その団体の良さをうまく引き出すことができないのではないか。
- ・自分たちの団体活動を続けていくことに一生懸命であり、他団体と知り合うきっかけがない。  
⇒きっかけ作りをしていくことが必要となってくる。
- ・世代・年代によってやり方を変えないといけない。  
⇒目的が同じであっても年代が異なれば、人間関係の作り方が異なるため、やり方を変えていくべきではないかと思う。
- ・行政も実際に庁外へ出て意見を言うべきである。
- ・マッチング講座において、思いを共感できるような団体に集まってもらい、協働できるようにしていきたいと思う。
- ・他課でも市民と協働している団体はあるが、情報共有できていないため、今後は情報共有できるように取り組むことが大切になってくる。
- ・昨年度のマッチング講座では、様々な方にご参加いただいたが、その後どうなっ



たのか確認していないため、今年はその面もフォローしていきたい。

- ・情報誌「みんなのパレット」へ、マッチング講座の経過を掲載していく。
- ・団体にとってメリットが無いと、参加しようとは思えないのではないか。
- ・口コミが一番強いのではないか。
- ・「一緒に活動できる人がほしい」「誰かに相談にのってほしい」という人たちの場となってほしい。
- ・グループワークに委員が1人ずつ入り、進行・記録をするともっとよくなるのではないか。



## 2.補助金相談員について

- ・補助金を申請する場合、ボランティア団体が単独で実施するには難しいので、委員の中で、補助事業の相談役をできないだろうか。
- ・審査員と相談者の2つに分かれて行う。アドバイスや工夫すると良いこと等を伝えていければと思う。
- ・審査会の日程は、1月25日の午後、26日の午後のどちらかで行う。
- ・申請者の相談日をどう設けるかを今後考えていく。
- ・書類審査は全員で行い、表現方法等のアドバイスをしつつ、よりよい申請書ができるように協力していく。

## 3.その他

### (1) 絆づくり実行委員会

#### 【絆ファイル】

- ・7月1日(月)午後1時30分から、第1回絆ファイルを実施した。
- ・参加団体は、①ローズ・リボン ②すいとぴあYUYUくらぶ ③上奈良気まサロン ④布袋北小学区太極拳 の4団体。

#### 【ふくしま祭り】

- ・今年度も平成26年3月2日に「ふくしま祭り」が開催されるので、参加していく。

### (2) 市制60周年事業(事務局より)

- ・江南市が元気になるようなイベントを市民に企画、実施してもらいたい。その事業に補助をしていく。
- ・予算や募集期間は未定であるが、決まり次第ホームページで紹介していく。